

△産業宣教 主のいのちの息(創 2:7)	△レムナント伝道学 レムナントの祈りのやぐら ⑤ - 空前絶後(ヨシ 10:10-14)	△核心 /RT Day 12 月 学院福音化メッセージ	△散らされた弟子たち 旧約時代の伝道の道しるべ ③ - ダビデ
□序論_24(刻印-体質、中毒) 24 は一日中平安で、健康で、霊的力があるべき。24 ということは、刻印、根、体質になるということだが、そのとき、ものすごい力が出てくる。 1. 1 千やぐらを建てて、教会を生かして最高の伝道である神殿に 24 しなさい。 2. 最高の始まりの単語であり、最初に与えられた力が「主のいのちの息」だ。そして三つの庭をおいてずっと祈るのだ。それとともに一つの国を選択するのだ。 3. 私たちには正しい集中が必要だ。何に集中するかが重要だ。それゆえ、金土日時代なのだ。 答えの基準は 24, 25, 00 だ。私が 24 祈りの奥義を味わっていれば、現場で神の国の働きが起る証拠が来る。これが 25 だ。すると、重要な永遠の作品を残すようになる。 □本論_どんな力が必要なのか 1. 創 2:7 1) 生命力 神様がいのちの息を吹き込まれたというのは神様が与えられる生命力を言う。これを祈りでずっと味わって、職業に没頭するのだ。 2) 創 1:27 神のかたちを持った者に吹き込まれた 3) 創 1:28 征服して治めなさい。世の中を生かさなければならぬ。 2. 出 24:14-17 神様が理解をさせようと荒野で三つの祭を守るようにされた。救いは過越祭。五旬節は力。仮庵祭は背景、御座。 3. エゼ 37:1-10 悟れないから、干からびた骨のようになった。完全に死んだのだ。そのとき、「いのちの息を吹き込みなさい。その前にみことばを預言しなさい」と言われた 4. ゼカ 4:6 また逃した。「権力によらず、能力によらず、主の霊によって」 5. ヨエ 2:28 その後、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、青年は幻を見る 6. 使 1:1-8 復活されたキリストが神の国のことを 40 日間説明。これを 24 味わえば、地の果てまで証人になる。 7. 使 2:1-47 この契約を握って集まったマルコの屋上の部屋だ。ここで驚くべき働きが始まった。全国、世界の産業人、神様の力を 24 味わいなさい。 □結論_光の経済を回復した人々 (祈りの奥義を味わって神の国が臨むように) 1. イテロ 出エジプトすべきだと 2. オバデヤ 王に罰を受けて死んでもすべき働き 3. プリスカ いくら難かしい目にあっても、すべき働き 4. ガイオ 5. ピレモン	「黙想運動の主役- 24・25・00」レムナントは黙想運動の主役だ。ここで「空前絶後(Unprecedented)」の答えが来るようになる □序論 1. 三位一体やぐら(創 1:27、2:7、2:18) -三位一体の神様のやぐらが、私のいのちの中に、たましいの中に、生活の中に働く 2. 御座のやぐら-237 -私の中に御座のやぐらが建って、時空超越という答えが出てくる。これがプラットフォームが作られて、見張り台が立ち、アンテナが立つのだ。それでこそ、237 が可能だ。 3. 道しるべ-私たちの中に神様が造られた道しるべができるようになる。 □本論 1. RT 7 1) あらかじめ CVDIP を見る 2) 前の世代が見ることができないことを見るようになる。 3) 未来の世代-現在の指導者が見ることができなかったことを見た。 2. ヘブ 11:38 1) 時代の終末 2) 時代のわざわい 3) 見張り人 3. 使 17:1、18:4、19:8 1) 当為性-わざわいと暗闇の中から救い出すことができるのはキリストという単語、当為性を教えた 2) 礼拝、祈り-なぜ安息日ごとに行ったのか。私たちは礼拝と祈りが何かを知る必要がある。礼拝と祈りについて霊的であり、科学的なことを発見する必要がある。 3) 答え-神の国について大胆に語った。答えが何か知る必要がある。 □結論 祈りのリズム 学業のリズム -祈りのリズムに乗って学業を並行させるのだ。これが合ってこそ、成功の道に行く。ダビデが石を投げたのと、ダビデの祈りが並行したのだ。	神様のみことばは、およそ 10 世紀を見通す先に行くメッセージを与えられたのだ。それゆえ、人々が信じることができないのだ。そこで霊的な目を持っていてこそ見える。あらかじめ答えが特徴だ。 □序論_黙想運動の(世界やぐらを建てる)主役になると決断すれば良い。 <u>24、25、永遠</u>を見つけ出しなさい。24 力と幸せを味わう祈り、目標は 25 御座の力の神の国。それゆえ、永遠ということ残すのだ。 1. 一生の祈りの答えがあらかじめ来る。これを握って祈るのだ(24, 25, 永遠) 1) 神様の力で臨む 7 やぐら 2) 神の国の成就を成し遂げる 7 旅程 3) カルバリの丘から始まる 7 道しるべ 2. 祈りの道しるべが見える。 1) みことばは成就する。このときから、みことばが生きている神様のみことばであることを知るようになる。 2) 祈りの答えが来る。 3) 未来の準備ができる。 3. 祈りのスケジュールがある。 1) 年齢(レムナントの時はたくさん見たのではないので、さらに霊的なことを味わう必要がある) 2) 職業 3) 職分によって祈りが違うべきだ。 □本論_みことばが見え始め 1. ヤコブの手紙-信仰の行い 信仰、行いということが別ではない。 2. I ペテロ-I ペテ 2:9 「王のような祭司」として皆さんを呼ばれたことを味わうことが祈り △レムナントは今からこの祈り(序論)の中で勉強を始めてみなさい。確かに神様の計画が成し遂げられる。 3. III ヨハ 1:2 <u>たましい</u>、<u>すべてのこと</u>、<u>健康</u>-順序 霊的な力があってこそ、見えることが出てくる(すべてのこと)。それでこそ霊肉ともに健康を得る。 4. 黙 1:1-3 まことの幸い-神様の本当に恵みを受けた人が長生きすれば良くて、お金があれば良い 5. 7 教会-イエス・キリストが完全に掌握しておられる。教会だけ唯一神様が完全に主人として治められるのだ。 <u>礼拝-時代と世の中の先を行きなさい</u> 答えだけ受ければ簡単だ。あらかじめ答えを見てしまえば簡単だ。7 やぐら、旅程、道しるべを味わえば必ず勝利する。	<u>ダビデ</u>はレムナントの時と王になった時と祈りが全く同じだった。 1. I サム 17:1-47 ゴリヤテとの戦い 1) ペリシテの神の名前でイスラエルとダビデを呪ったゴリヤテ 2) 主の御名を持って立ち向かったダビデ。結局、この対決だ。暗闇の名で全世界を倒すけれど、皆さんは主の御名によって! イエスは主の御名(ヨハ 17 章)、その名をインマヌエルと呼ぶ。わたしの名によって祈りなさい。 2. 雅 4:1-5 1 千やぐらを建てたダビデ ※絶対やぐらを建てなさい 3. I 歴 29:10-14 神殿準備 ※神殿献堂-神殿を完全に準備して献堂したダビデ 常に覚えておく必要がある。霊的戦いに勝利しなさい。すべての現場を生かすやぐらを建てなさい。伝道の中の伝道で、宣教の中の宣教である教会。テンプル戦争、メイソン戦争だ。神殿をどのように作るかに従って伝道が完全に変わる。多民族が来て、自由にできる家、病んだ者が安らかにきて祈りができる所、レムナントが夢を広げて自由にすることができる所。

△区域メッセージ (第 47 週) 現場教会と 25 の答え (使 7:54-60)	△聖日 1 部礼拝/収穫感謝祭 いつも感謝しなければならないこと (Ⅱテサ 2:13-17)	△聖日 2 部礼拝 すべての人に信仰があるわけではないからです (Ⅱテサ 3:1-5)
□序論_科学化(超過学)-事実 神様のみことばは超科学だ。これを事実を持って見る必要がある。 1. 私の中に神殿(Ⅰコリ 3:16) -ネフィリム これが答えの始まりだ。シャーマンはネフィリムになって教えるが、聖霊の働きは私たちの中に臨んでいる。この事実を信じるならば、私たちの祈りと礼拝が変わる。 2. 教会堂-神殿(三つの庭) (メッセージ) -多民族はメッセージを正確に見つけて行きなさい。 (呼吸祈り) -実際の癒やしの庭だ。 (RT) -子どもたちの庭だ。レムナントは残りの者、残る者、残れる者、残す者だ。 3. 現場-神殿(使 18:1-4) -人を生かす所 私たちの現場が神殿だ。ここが人を生かす所であれば神殿だ。 □本論 1. いのち運動 1) 遊女ラハブ-人を生かす働きをしたが、永遠の答えを受けた。私たちは下手すると指摘からする。レムナントが間違ったとき、先にしなければならないことがある。何か自分に対する確認と活動をするためにしてみたらそうだったのだ。若いという証拠で、より良い経験、より良いことを見ることができる人だ。 2) ハンナ、エッサイ-他のことをしたのではなく、人を生かす働きをした。 3) オバデア-預言者 100 人を隠して、エリヤ、エリシャを助けた。 4) エステル-生かす働きを、大きいことをした。 5) 初代教会-いくら迫害を受けても滅亡運動はいのち運動に勝つことはない。 2. 価値-現場でいのち運動をしてみるならば、いのちをかける価値あることが見える。 1) 初代教会-重職者 2) ステパノ-自らのいのちを出すほど、価値を発見した。 3) 使 11:19 -患難の中で起きた人々、ステパノのことで散らされた者たちが集まった。パウロはステパノが石に打たれたとき、証人として立った人だ。 3. 絶対-神様の絶対的なことを見るようになる。 1) RT 7 人-歴史的証拠でレムナント 7 人だ。絶対のことを見たのだ。 2) パリサイ人-初代教会-パリサイ人がステパノを殺したが、だれが勝ったか。 3) 使 1:1, 3, 8 絶対のこと、キリスト、神の国、ただ聖霊を見たのだ。 □結論 1. 御座の奥義-これが臨むのだ。これが分からなければ水準が獣の水準だ 2. 時空超越-この言葉が理解できる。 3. 237 - 237 が理解できる。	□序論 1. 二つの質問 1) どのように少数の福音を持っている人が世界を生かしたのか 2) なぜネフィリム運動する 3 団体が世界を掌握したのか 2. 仮庵祭(収穫感謝祭)の意味 1) 天国の民は御座の力で生きるということ 2) イエス様の約束-地の果てまで行く力を与える。 3) 奴隷として行って、御座の力を味わって待ったヨセフ 3. 三つの祭りの内容を逃した人々と悟った人々 1) 三つの祭りの内容を逃したイスラエル 2) 三つの祭りの内容 (1) 過越祭-キリストの血による救い (2) 五旬節-聖霊の力で世界福音化 (3) 仮庵祭-御座の力で未来保証 3) 三つの祭りの内容を正しく悟ったパウロの告白(ピリ 3:8-21) (1) 上から与えられる、それを成し遂げよう (2) 上から召してくださる賞に向かって (3) 天国の国籍所有 (4) 万物を従わせることさえできる、その御名 □本論 1. 御座の始まり(13 節) 1) 創 1:27 私はいのちの中に御座の力 2) 創 2:7 神様が吹き込まれたいのちの中に御座が臨むこと 3) 創 2:18 私の現実、生活の中に御座の力が 2. 御座の力(14 節) -御座の力で神様がすべてを生かす 1) 御座のやぐらを私の中に入れて祈り 2) 御座の旅程を持って祈り 3) 御座の道しるべに従って行きなさい 3. 御座の力を知って感謝して祈れば継続が始まる 1) 御座の力で保護して導かれるという約束 (1) 初めからあなたがたを選別。聖霊であなたがたを聖別(13 節) (2) キリストの栄光を預かるようにさせよう(14 節) (3) 永遠の慰めとすばらしい望みをあなたがたに(16 節) 2) イエス様の約束 (1) 祈り-神の国が臨めば(マタ 6:10) (2) 伝道-神の国が臨んだと伝えなさい(マタ 10:7) (3) 家を生かす道-サタンが縛られて聖霊が臨めば、神の国が臨んだのだ(マタ 12:28) (4) 神の国とその義を求めなさい(マタ 6:33) (5) 神の国を味わって待てと言われたイエス様(使 1:3) 3) パウロ-ローマへ行く前に神の国に対して大胆に語る(使 19:8) □結論_この契約を味わえば今起こること 1. 出 14:19 主の使いがモーゼの前、後に 2. Ⅱ列 19:35 ヒゼキヤが祈るとき、主の使いを 3. ダニ 3:8-25 火の炉の中に入ったとき御使いを 4. ダニ 6:22 獅子の穴に御使いを 5. 使 1:11 イエス様がまた来られることを伝えた御使い 6. 使 12:1-25 主の使いを送ってヘロデ王を呼んで行かれる 7. 使 27:23-24 パウロが危機の中で主の御使いが	無条件、祈り 24 しなさい。御座の力で空前絶後の答えを受ければ根源が癒される。 テサロニケ-祈れば皆さんの地域に神様の重要な祝福が見える。世界を生かすやぐらを建てる地域であることを見たのだ。 Ⅰ千やぐらと神殿-すべての重職者はこの祈りを始めなさい。三つの庭を作ることができるやぐらを建てるのだ。問題は、だれがすることができるかということだ。それゆえ、今日の本文に「信仰」持った者は生かす答えを受けるが、すべての人に信仰があるわけではないのだ。 □序論 1. どんな強大国も人を生かす霊的やぐらは建てることができない。 1) ユダヤの国 2) ギリシャ 3) ローマ △教会は巨大だが福音が全くないことを発見した。それゆえ、ユダヤ人は世界福音化できない。 2. 宗教では人を生かせない。 3. 政治家は世界福音化ができない。それゆえ、皆さんを呼ばれたのだ。 △職業すべて持っていることだが確定しなさい。キリストで人を生かす人がいない。 Ⅰテサ 1:3 信仰の働き、望みの忍耐、愛の労苦 Ⅰテサ 1:5 ただ聖霊と力と強い確信で Ⅰテサ 1:7 すべての地域にモデル、模範 Ⅰテサ 5:16-18 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことについて感謝しなさい。 □本論 1. だれにこの答えを与えられるのか。キリストを知る者にマタ 16:16-20 1) 岩-あなたは幸いです。 2) 権威-よみの門が絶対に勝つことができない。 3) 鍵を与えます。 △キリストでみな終わらせる祝福を味わいなさい。どんな問題もキリストを超えることはできない。パウロがいつも伝えた福音は、恵みとあわれみと平安があなたがたにありますように。 2. 何を知る者にこの祝福を与えられるのか。神様の栄光が何かを知る者 1) 7 やぐら-三位一体の神様、御座の力、3 時代を変える祝福、空中の権威を持つ支配者に勝つ力、5 力、あらかじめ CVDIP 祝福、三つの庭、私に 2) 7 旅程 3) 7 道しるべ-カルバリの丘(呪いの終わり)、オリーブ山(御座の力)、マルコの屋上の部屋(力)、アンティオキア、アジア、マケドニア、ローマ 3. 道 始まり-終わりを知っている人は揺れない。 1) 使 17:1-9 テサロニケで始まり 2) Ⅰテサ 1:3, 5, 7 3) Ⅱテサ 1:11 祈りで私たちを助けてください。祈りで世界、次世代を生かしなさい。 □結論_すべての重職者はⅠ千やぐらと神殿、勸士、按手執事、専門家は金土日時代において祈りなさい。レムナントは一つの言語は確実に勉強して、皆さんの小さなことが 237、世界化されるように、その祝福を味わいなさい。マタ 28:18-20 と御座の力でともにいると約束された。